自己評価（前年度）

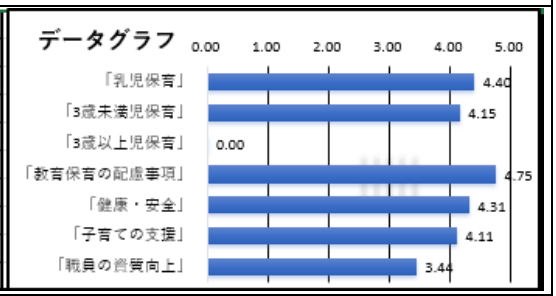
※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

データ分析表

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.40
「3歳未満児保育」	26	4.15
「3歳以上児保育」	0	#DIV/0!
「教育保育の配慮事項」	16	4.75
「健康・安全」	29	4.31
「子育ての支援」	18	4.11
「職員の資質向上」	9	3.44
計	113	4.25



総合評価

今年度、プロジェクト活動や生活面で“こども一人ひとりをみる”という所を意識して関わることができていた。その為、より個々の表現や発信を捉えていきたいという職員の思いも生まれているので、引き続き丁寧な関わりを意識していく。そして子どもたちの様子や成長を保護者の方や地域の方に視覚的に見ていただけるよう、活動の軌跡を写真も用いて日常的に掲示したり、地域向けに発信したりという取り組みに力を入れていきたい。

また、職員が参加させていただいている研修や委員会を個人の知識から施設の知識となるよう、会議や会議録で共有するという点に力を入れていく。

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
34. 職員・職員の家族との「信頼」の構築	風通しのよい関係づくりに向けて、休憩を複数名でとる、ノンコンタクトタイムをとる等の発信を毎月の会議で行っていく 【年間12回　（前期６回、後期６回）】
36.保護者との「信頼」の構築	ポートフォリオや振り返りの際に、保育への思いを共有する場を設け、インスタグラムの更新に活かしていく 【年間12回　（前期６回、後期６回）】
37.地域との「信認」の構築	委員会についてのテーマを毎月の会議で話し合い、取り組みへの理解を深める 【年間12回（前期６回　後期６回）】